



## 助産教員の資格と能力 Qualifications and Competencies of Midwifery Teachers

### 背景

「ICM 基本的助産業務に必須な能力」が 2002 年の ICM 国際評議会において初めて採択された際、そうした能力は、世界中の助産師教育プログラムの内容を立案／強化するために必要に応じて利用されると予測されていた。複数の国々で、すでにこれは現実となっている。世界のいずれの地域においても、助産師の実務と歩調を合わせて助産師教育プログラムを開発することが必要である。すなわち、必要と定められた実践能力と教育で体験する内容とは、密接に関連しあっている。同様に、有効な助産師教育のためには、臨床能力を保持している有能な助産教員が必要である。能力のある、助産の臨床実践家を育てるパターンは多数あるが、助産師を育てる教師の役割を担う助産師に必要とされる資格と能力については、いくつかの意見の相異がある。ICM は、妊婦と新生児の健康と安寧を推進するため、実践と教育の双方に高い能力を有する十分な数の助産教員を養成することに関して、一定の原則を確立する必要性があるとの立場をとる。

### 所信声明

助産師が専門職者であることの証明のひとつが、女性と出産を迎えた家族に提供するケアの質である。助産ケアは、なによりもまず安全でなければならない。助産ケアは、科学的根拠に基づいており、自分自身のヘルスケアに関する意思決定にしっかりと関わることを望む女性と家族を尊敬とともに支援するものである。助産哲学と助産ケアモデルを実現するために、ICM は、助産師になるための学習をしている者には、自らも有能な助産実務家であり、かつ助産哲学と助産ケアモデルを自らが教える学習者に適用できる適切なロールモデルが必要であると確信している。また ICM は、教えることは学習して身につける行動であり、助産師を目指す者を教育するためには、正式な準備と教育指導が必要であることも確信している。教員になることを目指すすべての助産師は、成人がどのように学習するのか、そして教えることで他者の学習をどのように支援できるかについて理解しておく必要がある。ICM はさらに、助産教員は、助産業務を成功させるための基本的な資質として、学生の批判的思考力を養成し、エビデンスにもとづく臨床判断を促進し、説明責任を求められることができなければならないと確信している。

### 見解

助産教員の最低限の資格には次のことが含まれる：

- 臨床実践の能力—助産師が、他の助産師の教師になるための責任を兼ね備える準備ができるとみなされる前に、様々な現場で 2 年から 5 年の臨床実践経験を必要とする
- 熟練した教師による指導も含め、教師になるための正式な準備
- 自分自身とその学生のための生涯学習への関与

以上のことから、助産教員の能力には次のことが含まれる：

- 成人の学習に関する理論の知識

- 学生はいろいろな学び方をするので、学生の学習を促進させ実践能力をつけさせる、さまざまな教育法を利用できる能力
- 地域、国家のニーズに沿いながら、助産学のカリキュラムを構成・遂行し、その有効性を評価するための確固とした基礎

助産教員は次のようである必要がある：

- 助産学の理論と実践における最新の知識水準を維持し、いかなる時でも科学的根拠に基づいた実践を推進する。
- 教育と学習に関わる自身の価値と先入観を理解し、さまざまなクライアントに関わることに関連して学習者の間でいろいろな価値観を明確にする環境を提供する。
- さまざまなクライアントに関わることに関連して学習者の間でいろいろな価値観を明確にする環境を提供する（文化的に適したケアの提供）。
- ICM 国際助産師倫理綱領に沿って、助産ケアの専門的／倫理的側面を促進する。
- 相互の尊敬と信頼に基づいた学習環境を構築する。
- 安全で有能な、尊敬すべき助産ケアの擁護者である。
- 医療チームのメンバーとして、他の専門家と協働する。
- 最新の臨床実践を維持する。

## 会員協会への指針

会員協会は、新人助産師の教育において積極的な役割を果たすことが奨励される。また、それぞれの国・地域における助産教員の基準を設定する役割を確立・強化するためにこの所信声明を用いてもよいだろう。

## 関連 ICM 文書

- ICM 「国際助産師倫理綱領」（1999）
- ICM 「基本的助産業務に必須な能力」（2002）
- ICM 所信表明「助産：自立した専門職」（2005）
- ICM 基本文書「助産ケアの理念とモデル」（2005）
- ICM/WHO WHO 「（仮訳）助産ツールキットの強化」（2008）

## その他の関連文書

- Thompson JE, Kershbaumer RM, Krisman-Scott MA. *Educating Advanced Practice Nurses and Midwives*. New York, USA: Springer Publishing Company, 2001.

2008 年、グラスゴーでの国際評議会にて採択

次回見直し予定：2014 年

2010 年 1 月（社）日本看護協会・（社）日本助産師会・日本助産学会訳

All rights, including translation into other languages, reserved. No part of this publication may be reproduced in print, by photostatic means or in any other manner, or stored in retrieval system, or transmitted in any form without written permission of the International Confederation of Midwives. Short excerpts (under 300 words) may be reproduced without authorisation, on condition that the source is indicated and that the ICM be informed.

他の言語への翻訳権も含めて、この出版物は著作権を有しています。国際助産師連盟（ICM）から文書による許諾を得ることなく、本書の一部または全部を何らかの方法で複製することや検索システムに登録することなど、一切の伝播を禁じます。ただし、短い引用（300 語未満）に関して、許可は不要ですが、その場合は出典を明記し、ICM へご連絡ください。